

まちづくり時習塾

春の小川の象徴であり絶滅危惧種であるメダカは、農業用水路がコンクリート化されると共に姿を消していきました。幸い旧田富町(中央市)では、その名が示すとおり豊かな水辺の代表である田んぼがまだ残っており、メダカがわずかながら生息しています。

私たちまちづくり時習塾は、100名程の会員を持つ市民グループで、身近な自然を大切にしたいまちづくりを目指し、1995年6月に発足しました。

「まちなかまるごと水族館構想」を柱に翌年、「めだかの里」・「めだか広場」という2つの小さな手づくりピオトープをつくりました。

めだかの里では、田富北小学校2年生と地元のお年寄りとの米作りが14年間繰り広げられました。田富小学校5年生との米作りは20年目を迎えましたが2009年春、めだか広場は宅地になってしまいました。「新めだか田んぼ」を作り、何とか米作りは続けられています。

身近な自然と人の営み、子どもと地域、それらの橋渡しに極当たり前にこの場を通して受け継がれています。



田富北小2年生の田植え



田富小5年生の新めだか田んぼ

「川原の四季」自然観察会は、

1999年から始まりました。

かつて、渡り鳥の中継地であった臼井沼(常永川・釜無川合流地)で年4回開催しています。身近な自然の中での驚きや発見が人と自然の豊かな関わりを考える機会になります。たくさんの不思議や魅力を隠し持ったこの地を多くの人に知ってもらい、より豊かな自然を子どもたちに引継ぎたいと願っています。

運営は、

会費とカンパ、持ち寄り精神で活動しています。日常は「ワークデイ」と称し、めだかの里・広場の草刈、ごみの片付けなどをボランティアで独自に管理運営しています。また、活動報告・予定などは通信「めだかだより」を発行しメンバーに郵送しています。

いつでもだれでも会員になれます。どうぞ会員になって私たちを支えてください。

その他、水質調査・写真展・講演会・映画会などを企画し一般の方にも参加を呼びかけています。



埋め立てられる前の臼井沼 昭和44年頃(1969年)



「川原の四季」自然観察会 常永川

地図



【問い合わせ先】

まちづくり時習塾(担当名執)

〒409-3845 山梨県中央市山之神4-91

TEL/fax 055-273-4720